

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 新 文化財保護センター出土品DX事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化財保護センター 管理調整係 電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,867千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,867	0	0	0	0	0	0	0	5,867
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

コロナ禍の数年間を経て、ICTを活用した学校教育・生涯学習が普及しつつある。そこで当センターが所蔵する貴重な埋蔵文化財を3Dデジタル化し、公開することによって、多くの人々が文化財に触れる機会を創出する。また、岐阜県文化財アーカイブ事業(R1~R5)の趣旨を踏まえ、文化財の被災(震災・水害等)に対応するため、文化財資料のデジタル化を進める。

◎出土品の3Dデータ作成・インターネット上の公開

当センターが所蔵する600万点を超える出土品のうち発掘調査報告書に掲載した遺物約12万6千点から、特に重要な遺物の3Dデータを作成し、上下左右のいずれにも自由に操作しながら見ることができる映像を文化財保護センターのHP上で公開する。令和6年度は18点の遺物の3Dデータを作成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,867	遺物3Dデータ作成費5,867千円(18点)
合計	5,867	

決定額の考え方

実施の緊急性を考慮し、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略 施策編

◎各館の収蔵品等のアーカイブ化を進め、県民が芸術文化に触れる機会を拡大する。

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

Ⅲ 各分野のDX 4文化

◎デジタル技術を活用した新たな文化芸術の公演・鑑賞スタイルを確立
(文化芸術へのアクセシビリティの向上)

○仏像等の文化財の3D計測による記録化、デジタル図録のWebサイトによる配信

Ⅲ 各分野のDX 15教育

◎アナログとデジタルを最適に組み合わせた「個別最適の学び」や「協働的な学び」の確立と、持続可能な岐阜県の創り手となる人材の育成

○ICTを活用した「ふるさと教育」、「協働的・探究的な学び(STEAM教育)」、「産業教育」の推進

(2) 国・他県の状況

愛知県：愛知県埋蔵文化財センター 遺物の3Dファイルの公開(3D-PDF)

新潟県：長岡市政策企画課「縄文オープンソースプロジェクト」

熊本県：熊本県教育庁文化課 遺構の3Dデータを公開(Sketchfab)

(3) 後年度の財政負担

4か年計画で3Dデータ97点作成。

(4) 事業主体及びその妥当性

県：対象となる埋蔵文化財は県有であり、当センターが管理している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県が所蔵する埋蔵文化財を三次元計測によってデジタル化し、3DデータをHP上で公開することによって、これまでの普及活用事業だけでは対応できなかった多くの人々が文化財に触れる機会を創出する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①遺物3Dデータ 作成(点数)	0	0	0	18	97	19%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	文科省のGIGAスクール構想で、小中学校の児童生徒用の端末1人1台、無線LANなどの整備が2022年3月末時点で全国98.5%で完了しており、学習用デジタルコンテンツのニーズが高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	3Dデータで埋蔵文化財を見られるようになれば、出前授業の他、学校や自宅等で手軽に遺物を見ることができ、県民が文化に触れる機会が拡大する。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	文化財保護センターのHP上で公開することを視野に事業を進めていく。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>多くの人々が3D映像を見てもらえるように、出前トーク・出前授業などの機会を用いて、学校・団体への広報活動を積極的に行うとともに、3Dデータのさらなる活用(オープンデータ化)などについても検討する必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>次年度も継続して実施し、4か年で97点の遺物を3Dデータ化する。また、出前授業等で3Dデータをデジタルコンテンツとして紹介するなど、授業シナリオを構築する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	岐阜県文化財アーカイブ事業 岐阜県文化財データベースWebサイト公開事業 【文化伝承課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	伝承課のHPでも公開すれば、多くの人々が文化財に触れる機会が増える。